

成人式



大人の仲間入り
おめでとう!!



中里の家だより
第20号

発行年月日
平成4年2月20日

発行
社会福祉法人
安房広域福祉会

〒294-02
館山市中里288-1
0470(28)2022

一月十五日「成人の日」、中里の家でも多数の来賓の方々の出席を頂きまして、平成四年成人式・祝賀会が盛大に行われました。今年には加藤昌之君・小澤多恵子さん・柴田洋子さん・田中祐子さん・金高藤代さんの七名が大人の仲間入りをしました。

男の子たちはキリツとしたスーツ姿、女の子たちはそれぞれ華やかな着物姿や、かわいらしい洋服でおしゃれをし、ほんのりと女性らしさを漂わせていました。

記念撮影の後、いよいよ成人式の開式です。

みんなの手拍子に迎えられて入場した新成人の顔は、それぞれ大人の雰囲気十分。施設長の挨拶の後、来賓、保護者会々長の方々からの温かい御祝辞を頂き、新成人代表として加藤昌之君も、「これからを語ってくださいました。」と立派に抱負を語ってくれました。

そして、保護者への花束贈呈。「お父さん、お母さん二十年間ありがとうございました。」という言葉に、場内は感激の涙の渦につつまれた一瞬でした。

成人式が終わり、次は祝賀会に移りました。

各テーブルの上にはこの日を祝福するかの様に色とりどりの花が花瓶に生けられ、御馳走を前には和やかな会の始まりです。

まずは園生代表と職員によるアトラクション。かわいらしい衣裳を身につけた歌と踊りに拍子喝采、心が和みました。又、今年には、ティチクレコードの網代やすおさんの御好意により、にぎやかな歌謡ショーがありました。生で聞くプ



口の歌声に聞き惚れ、又、一緒に歌うなど、会場と一体となった一時でした。

そして、来賓の方々からは、御祝いのカラオケも披露され、あっという間に楽しい一時が過ぎました。新成人の皆さん、今日から大人の仲間入り、本当におめでとう。

施設長所感

新しい年を迎えられ、ますます御清栄のことと存じます。

「中里の家」も五回目の正月を迎え、入所者・職員共々あらたな気持ちでこの一年を過ごしていきたいと考えております。

過日、今年新成人となられた七名の方の前途を祝し、成人式祝賀会を盛大に行いました。

来賓として近隣市町村・地域の方々に多数御出席いただき、「中里の家」に対する御理解、御援助に感謝申し上げますと共に、関係各位より寄せられる期待の大きさに身の引締まる思いをいたしております。

更生施設としてどうあるべきか、今後の施設運営について新たな取り組みが必要であると思われまします。これまでの実績をふまえた上で処遇内容全般にわたって見直しを行っていかねばなりません。また、当施設は、地域福祉の中核としての機能も果たしていかな

ければならないと考えております。現在、来年度の事業計画・予算の編成を行う中で、様々な取組みについて検討を重ねております。今後共御支援の程よろしくお願いたします。

新成人者紹介

加藤昌之君

昭和四十六年九月十日生まれの昌之君。二十才という年令のわりには落ちついた印象をうけます。手先が器用で細かな仕事が得意です。作陶班では、型ぬきをした作品をカンナを使い上手に仕上げてゆきます。又、難しい仕事にも興味を持ち、自分から進んで参加しようという姿勢を見せてくれ、どんな仕事もこなせるようになってきました。これからも向上心を忘れず、色々な物に興味を持ち、積極的に取り組んでいって下さい。

平野裕一君

平野裕一君成人おめでとうございます。

この世に生を受けたのは、昭和四十七年一月二十日でした。この年の出来事は横井庄一さんの帰還、浅間山荘事件、又上野動物園にパンダが来たのもこの年でした。それからすくすくと成長し、身長一八四cm、体重九十二kgの立派な身体になりました。

作業では耕耘機のエンジンかけ一輪車での堆肥運び、屋内では洗濯物整理や仲間の面倒をよくみます。

優しくて力持ちの裕一君、二十一世紀を担う成人となつてくださいます。

永井貴之君

いつも元気はつらつな男の子。永井貴之君。昭和四十六年十二月三日生まれです。農耕班に所属し色々な事に興味を示します。特に収穫の時になると、いつも以上に

元気に収穫を行ないます。又、耕耘機が大好きで、畑を耕す時期になると、目を輝かせ、じっと見ている事もあります。親しみやすい笑顔で、いつもみんなを和ませてくれる貴之君。これからも、その笑顔忘れずに、頑張つて下さい。

田中祐子さん

昭和四十六年九月二十六日生まれ、まだ微笑む顔にあどけなさが残っている祐子さんも、二十才を迎えました。現在基礎訓練班に所属し、歩行訓練・マット運動・音楽遊びと毎日元気良く訓練に励んで居ります。マットが苦手で見ると部屋の隅に寄り身を構えている祐子さんも近ごろでは、少しずつマットに近づく様に成つて来ました。為せば成る、為さねば成らぬ何事も。」の言葉通り苦手を訓練に立ち向かつて行く祐子さん、一段と身も心も大きく見えて来ました。これから先、思いがけない困難に突き当たる事と思いますが、挫けず頑張つて下さい。

柴田洋子さん

去る一月十五日、全国二百万人の新成人者が誕生した中、赤い振袖姿に金色の帯が一際あでやかであった、その成人者の名前は、柴田洋子さんです。彼女は昭和四十六年五月十一日に生まれ、きつと両親に大事に育てられてきたのでしよう。そんな彼女、両親に感謝の意をこめ式典の時には少し涙ぐむしぐさもみられとても印象的でありました。これからは、自分の事は自分で、できるようにするという事が、大事に育ててくれた両親、家族に対しての、恩返しになるのではないのでしょうか。何はともあれ洋子さん、成人おめでとう。心から御祝い申し上げます。

小澤多恵子さん

御洒落で、ちよつとおちゃめな多恵子さんも、二月二十四日で二十歳となります。成人式では、とても素敵なお赤い振り袖で登場!!。もう、りっぱな大人です。作業班

では、基礎訓練に所属。音楽が大好きで、リズム感の良い多恵子さんは、曲が流れたすと、踊りながら歌をうたってくれるので、基礎訓練のメンバーも、手を叩きながら喜んで居り、泣いていた人も笑顔になります。又、歌をうたいながら歩行訓練・積木運びにと頑張っているのが、食の細かった頃もありましたが、今では大きな口を開け沢山食べるようになってきているので、女の子らしい、ふくよかな女性となつてきています。これから、元気に明るく頑張つて下さい。

金高藤代さん

昭和四十七年一月十二日生まれの藤代さん、今年成人式を迎え大人の仲間入りをしました。作業班では基礎訓練班に所属し歩行訓練・積木運びなど行っています。牛乳が大好きなせいとかとても背が高く誰よりも高く積木を積みあげることができほこらしげにしています。おひとよしで自分が手にしている積木を他の子にとられても二

新成人者 保護者挨拶

成人を迎えて

小澤 富美子

コニコしておりとても可愛らしい彼女です。はじめは好き嫌いが多かったのですが最近では何でもうまではいきませんがよく食べるようになり、たくましくなつていくのが楽しみです。

護者、大勢の祝福を受け、七人の成人者はなんと幸せ者でしょう。子供だ子供だと思つていたその子は、今日ばかりは立派な大人に見えました。

一月十五日、晴天！
身も心もひきしまる。多恵子もそう思つたに違いありません。
成人式の当日は朝早くから仕度に大あらわ、多恵子にとつてはさぞ迷惑な事だつたでしょう。それにして身仕度を終えた時はさすが二十才なんだなあ……胸がいっぱいになりました。
式も盛大に、来賓の方々を始め、施設長様並びに指導員の先生方、職員の皆様、そして園生とその保

後を振り返る事もなくその日その日を一生懸命頑張つて今日まで来ました。ながしい二十年があつたという間に過ぎてしまつた気がします。頭の中を過ぎ去つたいろいろな事が走馬燈のようにかけ廻つていきます。生まれてからの事、入学してからの事、そして中里の家へお世話になるようになった事……障害児も義務教育化され、赤ちゃんな同然の子に何を教え、何を学ばせるのか？……でも今になって障害児教育の大切さを知りました。「自立」という言葉もこの子等には通用しない、出来るはずがないと思ひ込んでいたものの今は立派に自立出来たんだ、いいえ、自立させてもらつていているんだなあ……。中里の家の皆に温かく見守られて。人は皆助け合つて生きていくというもののとかく障害者は助けられる事ばかり。私も我子の病魔と戦いながらこの子と共に生きよう

と誓い早や二十年が経ちました。それも周囲の人達の励ましに支えられてこそと感謝致しております。

成人になったとは言え、今まで同様何一つ一人で出来るわけではありません。皆様の手助けがいります。迷惑を掛ける事ばかりでしょうがこれからもよろしくお願いいたします。

(施設長様の言葉をお借りして)中里ファミリーがいつも元気で、明るく楽しく、充実した毎日でありますように……。

お祈り申し上げます。

行事を

ふりかえって

デイズニールランド・収穫祭・餅つき

秋空に菊の香ただよう季節となった十一月五日、中里ファミリーは東京デイズニールランドへ出掛けました。待ちに待った夢と魔法の王国。到着すると皆嬉しそうに夢とロマンを求め足を踏み入れて行きました。色々な乗り物に乗った

り、ミッキーマウスやドナルドダックと握手をしたりと、とても楽しい一日を過ごし、思い出を残しました。

木々の枯れ葉も落ち尽くし、秋も終わりに近づいた十一月三十日日頃の作業の成果を披露することにより、成就感・自信・喜びを経験するを目的とした第五回収穫祭が開催されました。今年も各作業班で日頃一生懸命取り組んだ作品を中心に、模擬店・写真展示・ちびっ子餅つき大会・バザーなどと内容も盛りだくさんの収穫祭でした。年もいよいよ押し詰まった十二月二十七日には餅つき大会が行なわれました。各作業班ごとにペタンペタンと楽しそうに餅をつき、出来たての格別美味しいお餅を食べました。

今後の行事予定

平成三年度も残すところ二ヶ月となつてしまいました。年間行事予定を眺めていると、四月からの行事の数々が、次々と浮

かんできます。その一つ一つに、かけがえない思い出をいっぱい詰めて、今年度の行事を締めくくりたいと思います。

まずはA棟のファミリーパーク遠足(三月)。手づくりのお弁当を持参し、早春の一日をポピーの中で過ごします。

B棟のマザー牧場(三月)。広々とした牧場の中で思う存分遊びます。中には牛乳まんじゅう

とソフトクリームが目当ての人もいるでしょうね。

C棟の映画鑑賞(三月)。

久しぶりに乗る電車に、心も弾みます。今年は何の映画にしようかと楽しみにしていますが、エスカレーターもしつかり乗れるように頑張ります。

最後は、ABC棟とも恒例になつた苺狩りで締めくくりたいと思います。

編集後記

一九九二年が幕を開け、虹「第二十九号」を新年号としてお届けいたします。

温暖な地・房総とは言われながらも、やはり北風の冷たさが身にしみるこの頃ですが、二十才の門出を祝うかのような好天のもと、盛大な成人式・祝賀会を行うことができ喜ばしい限りです。多くの方々からの御祝辞を胸に、大人への第一歩をふみ

だした七名の入所者の今後の活躍を大いに期待したいものです。

お正月と言えば凧あげ。最近では殆ど目にしなくなりませんが、先日、棟別活動時の凧づくり風景をキャッチ。竹を割り、紙を貼り初めての試みに期待と不安の入り交じる中、凧は快調に風に乗れ、大空を舞い始めました。入所者・職員が童心に返り一緒に喜ぶ姿を前に、「今年一年も和氣藹々としたファミリーづくりに努めてゆきたい」と感じました。